

日時・場所	平成29年9月11日（月） 16時～ 庁議室
出席者	山仲市長、大藤議会事務局長、寺田政策調整部長、上田総務部長、田中市民部長、瀬川健康福祉部長、辻村健康福祉部政策監、小山都市建設部長、遠藤環境経済部長、竹中教育部長、川端会計管理者、北脇広報秘書課長、事務局（企画調整課）

1. 市長指示事項

- 9月3日、栗東市野洲川運動公園陸上競技場において、びわ湖陸上競技大会が開催された。湖南4市の陸上競技協会が行政の財政支援を受けずに手作りで実施され、今回で16回目となる。会場は栗東市に協力してもらっている。ここ1、2年は参加者が増えてきており、桐生選手の活躍もあり、盛り上がり、良い状況である。特に小・中学生など若年者に参加の機会があり、日本陸上競技連盟の公式記録もとれるので非常に意味がある大会である。このように地道に実施されていて良い取組はあるが、あまり知られていない。施設の更新に多額の費用がかかることも聞いている。本市では全日本マスターズ駅伝競走大会、全国中学校駅伝大会を支援しているが、本大会にもできるだけ協力をしてほしい。本大会は、陸上競技協会のボランティア活動、監督、コーチ、引率、会場の提供等の協力があって成り立っていることを認識しておくこと。
- すでに報道機関へ情報提供をしたが、住民投票の発議案が市議会で可決されたことを受け、先週の金曜日の午後に再議を求めた。議会と市長の意見の相違を解消することが一番の目的となっているが、10月に市議会議員選挙が実施され、議員が改選されれば解消する可能性も十分にある。今からであれば住民投票は選挙後の実施になるので、それよりは議会と十分に議論して解消した方がよいと考えている。予算や条例を「決定」するのは議会であり、住民投票によって市民や市長が決めることはできない。従って、議会が住民投票を発議することは余程のことではないとできないことである。そのような意味で、住民投票に反対しているわけではなく、再度熟考してほしいというメッセージを込めて再議を求めた。様々な意見はあると思うが、市としてはしっかりと論理構成をした上で再議を求めていることを認識しておくこと。市民に対しても、ホームページにおいて再議書全文を公表しお知らせすること。

2. 報告事項

① 野洲市中主B&G海洋センター体育館の大規模修繕に伴う貸館停止について

[所管： 教育委員会]

野洲市中主B&G海洋センター体育館は、昭和56年にB&G財団により建設されたものを無償譲渡契約により本市の施設として運営してきた。本施設は、現在まで大規模な修繕を行っておらず、屋根及びアリーナ床の老朽化が顕著となり利用に影響が出ていることから、B&G財団から工事費の半分以上にあたる1,340万円の助成を受け、大規模修繕工事を実施する。この工事に伴い、平成29年12月1日～平成30年2月28日の間の貸館を停止する。市HP及び広報紙等にて周知を行う予定である。なお、事務所は閉鎖せず、市民グラウンド、学校開放等の各種受付業務は継続する。

→恒常的な利用者への対応は問題ないか。

→振替等で対応する。

② 全員協議会への提出事項について

[所管： 総務部]

報告事項2件、会議結果報告事項1件、連絡事項6件を9月度全員協議会へ報告する。追加等がある場合は連絡願う。

3. 協議事項

なし

4. その他伝達事項

- 10月22日執行予定の野洲市議会議員一般選挙について、期日前投票事務の協力を願う。（総務部）
- 9月9日に野洲市議会議員一般選挙の立候補予定者説明会を開催し、23陣営が参加された。（総務部）
- クリーンセンター余熱利用施設整備に関連し、体育センターやテニスコートをリノベーションし活用することについての提案があった。本施設の運営手法であるPFIの趣旨を踏まえ、自由度を高めるためにも、提案を生かす方向で検討する予定である。（環境経済部）
- 9月10日（日）から16日（土）まで、文化小劇場において、第14回野洲市美術展覧会を開催している。（教育委員会）
- 県とアメリカミシガン州の姉妹都市提携50周年を記念し、9月9日に式典が開催された。クリント

ン・タウンシップからは2名が来日されており、現在市内のホストファミリー宅に滞在されている。(政策調整部)

- ・住民投票発議案の再議について、現在、議会において日程調整中である。(議会事務局)

5. 次回部長会議の予定

9月19日(火) 8時45分～ 庁議室